

本会議における不適切なヤジ発言に関する申し入れ

2021年3月16日

日本共産党 県議会議員 山本伸裕

3月11日、県議会本会議において、極めて不適切なヤジが発せられました。

それは、「スマホでわいせつな動画を女兒に見せた」として逮捕されたものの、熊本家裁において不処分とされた男性が、「違法捜査が行なわれた」と熊本県を相手取って起こしている裁判に関する提起に対し、私こと山本伸裕が討論をおこなっている最中に、議員席から発せられたものです。

男性のスマホは、県警が男性を逮捕した時に押収されましたが、わいせつ動画は見つからず、動画への接続履歴もありませんでした。熊本家裁は、男性について、無罪に当たる「非行事実なし」と結論付けています。

こうした事実を山本が討論の中で紹介した際、議場から「(動画は)消した、消した」とのヤジが飛ばされたのです。この発言は、「閲覧はなかった」という、認定されている事実を無視し、いかにも男性に犯行事実があったかのように印象付けるもので、男性の人権と名誉を著しく不当に傷つけるものです。

そればかりでなく、はたして本件が県議会において、事実関係の認識が正確に共有された上で審理がなされたのか、ということさえ疑われざるを得ず、県議会への県民の信頼を揺るがしかねない発言であった、という点でも看過できません。

したがって、議長におかれましては、今回の不適切なヤジ発言に対し、厳重注意をおこなうとともに、個人を傷つけ、議会の品位を損ねるような不適切な不規則発言が今後行われることのないよう、再発防止を徹底していただくことを求めるものです。

以上